

# 「花と名水、美し色の山梨へ」キャンペーン成果報告

平成21年6月30日

- 世界的な経済不況やガソリン価格の高騰など厳しい状況にもかかわらず、昨年の観光客数は4,753万人となり、過去最高となった平成19年から1.6%の小幅な減少にとどめることができた。また、平成18年との比較では7.9%の増となっている。
- 一方、本年のゴールデンウィーク期間中の観光客数は、280万人であり、デスティネーションで好調だった昨年を上回り、2.7%上回っており、キャンペーンの手応えを感じている。

## 【参考】

○ 県内観光客実人数（山梨県観光客動態調査結果）

平成18年 4,404万人

平成19年 4,829万人(対前年比+9.6%)

平成20年 4,753万人(対前年比△1.6%)

(対H18比+7.9%)

- また、キャンペーンでは花と名水をテーマにした、魅力的なイベントが多数実施された。
  - ・JRイベント列車90本以上運行 約1.3万人が乗車
  - ・駅からハイキング(JR東日本)約2,300人が参加
  - ・さわやかウォーキング(JR東海)約1,200人が参加
  - ・信玄公祭り(9.2万人)
  - ・富士芝桜まつり(昨年の30万人を上回る36万人の集客)
  - ・善光寺御開帳(28万人が参拝)
  - ・身延山五重塔落慶法要(4日間で2万人が参拝)
  - ・県立美術館「ミレー館」、県立文学館「太宰治展」など
- さらに、JRとの協働による観光キャンペーンの実施は、本県観光の進展に大きな効果を生み出しており、今回構築された官民協働のノウハウを今後も活かした取り組みを行う。

○ JRとの今後の協働

- ・JR東日本と協働した、平成22年のキャンペーン実施を検討中
- ・JR6社の協力により、平成22年6月に5連ポスターを全国1,500のJR駅に掲出する予定
- ・JRでは着地型のびゅう商品「旅市」を月1日から発売。山梨の商品（甲州ワインのふるさと「勝沼」とのふれあい）は11月に発売予定。JRでは、山梨発の旅行商品を今後増やしていく予定。（社）やまなし観光推進機構では情報提供や商品の相互協力などを行っていく。

## 【参考】

昨年の destinations キャンペーンで整備された、鉄道駅からの二次交通の継続・整備に努め、交通事業者や地域の理解と協力により、多彩な二次交通が運行された。

路線名称	経路の概要	運行会社
清流と甲斐駒ヶ岳周遊バス 【H21新規】	韮崎駅－実相寺・神代桜、尾白川溪谷、べるが、サントリー白州蒸留所など	山交タウンコーチ
甲斐善光寺シャトルバス 【H21新規】	甲府駅－善光寺、湯村温泉、武田神社	山梨交通
桃の花バス	笛吹市内及び山梨市内の桃花見スポット、笛吹川フルーツ公園	笛吹市観光協会
昇仙峡季節バス（快速バス）	石和温泉駅－昇仙峡	山梨交通
富士五湖花めぐり観光バス	石和温泉－富士五湖の花スポット－河口湖駅	富士急トラベル
河口湖レトロバス	河口湖駅－河口湖畔の観光スポット 河口湖駅－西湖畔の観光スポット	富士急山梨バス
ふじっ湖号	忍野八海、山中湖畔	富士急山梨バス
桜の花バス	石和温泉駅－甲府駅－神代桜、台ヶ原宿、道の駅はくしゅうなど	山交トラベルサービス
茅ヶ岳・みずがき田園バス	韮崎駅－みずがき山荘、おいしい学校など	山梨峡北交通
ハヶ岳高原リゾートバス	小淵沢駅－清里の人気スポット	山交タウンコーチ
清里ピクニックバス	清里地域内周遊	山梨交通

など